令和元年
12月号
No.602

法音

今月のご法話

法華経は
今世で成仏する教えです

日蓮宗
法音寺

111th

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音　令和元年十二月号［602］

■目次■

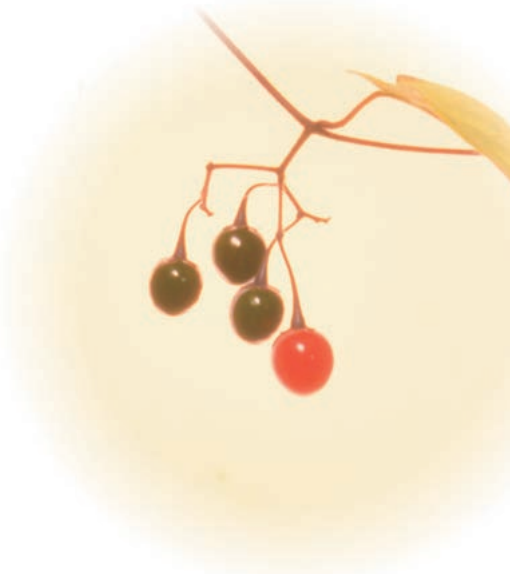
【信仰の指針】寂光（じゃくこう）　心ひとつでこの世は浄土です　1
【朝のこない夜はない】
法華経は今世で成仏する教えです　山首　鈴木正修　2
■顕修院日達上人の御祥月命日法要が執り行われます　17
■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください　18
■身延山布教隊　唱題行脚　20
■全山一斉清掃奉仕　22
■まんが・仏教説話・貧者の一灯　25
■中外日報に『法音』600号が紹介されました　33
■とこのはの記　地獄と極楽の話　34
■のりのね体験　いま・昔　38
■第37回御法推進全国大会開催　42
■支院だより　46
■福祉のひろば　79
○はぐくみ・ふれあい・よりそい　80
○昭徳会・令和2年度職員採用内定式を開催　86
○日本福祉大学災害ボランティアセンター　88
■賛助員ご芳名　90
■幸せの種まき／編集後記　92
■連載まんが・ひまわり・83　親切にする時　93
■書籍のご紹介
■法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針　山首上人さま　書　表紙写真・シクラメン
掲載写真　表紙・信仰の指針・3～17頁：梅田雅臣氏撮影
2頁：加納将人氏撮影

信仰の指針

寂光（じゃっこう）心ひとつでこの世は浄土です

日教正



ヒヨドリジョウゴ

朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

法華経は今世で成仏する教えです

日蓮宗の法要で一番盛大に行われるのは「お会式」であろうと思います。日蓮聖人のご命日やお逮夜に営まれる御報恩法要です。

「お会式」とはもともと「法会」の意味で仏教各宗共通のものでしたが、現在では日蓮聖人のご命日やお逮夜に営まれる法要儀式だけを意味するようになっています。これはおそらく日蓮聖人のご命日法要が特に盛大に営まれ、全国的に有名となり、他の宗派の「お会式」はかげをひそめてしまったのでしょう。

作家の倉田百三が次のような文章を残しています。

「毎年十月十八日の彼の命日には、私の住居にほど近き池上本門寺の御会式に、数十万の日蓮の信徒たちが万燈をかかげ、太鼓を打って方々から集まってくるのである。スピリットに憑かれたように、幾千の万燈は軒端を高々と大群衆に揺られて、後から後からと通りに続き、法華経をほめる歓呼の声は天地にとよもして、世にもさかんな光景を呈するのである。フランスのある有名な詩人がこの御会式の大群衆を見て絶賛した。それは見知らぬ大衆が法によっておのずと統一されて、秩序を失わず、霊の勝利と生気との気魄がみなぎりあふれているからである。

日蓮の張り切った精神と、高揚した宗教的熱情とは、その雰囲気をおのずと保って、六百五十年後の今日まで伝統しているのだ」（『学生と先哲――予言僧日蓮』原文のまま）

日蓮聖人は弘安5年9月、病気療養のため身延山を離れ、常陸の湯に向かわれました。途中、武蔵国の有力檀越、池上宗仲の屋敷に立ち寄られましたが、それ以上の旅をお続けになることはできませんでした。

日蓮聖人の臨終間近いことを知り、各地から参集してきた弟子や檀越達に対して、日蓮聖人は最後の説法として『立正安国論』を講じられました。そして10月13日、門下読経のうち、辰の刻に法華経に一身を捧げられた波瀾のご生涯を終えられたのです。

日蓮聖人のご生涯は「立正安国」に貫かれた一生であったと思います。

日蓮聖人は文応元年に『立正安国論』によって国家に諫言されました。当時の最高権力者・北条時頼に建白されたのです。

日蓮聖人は建長5年4月28日に清澄寺で、昇る朝日に向かってお題目を高らかに唱えられ、立教開宗の宣言をされました。その後、日蓮聖人が覚悟されていたように迫害が始まりました。聖人が「念仏はいけない」と言われたからです。当時は念仏を唱えることが非常に流行していて清澄寺の人達も念仏を唱えていたため、日蓮聖人は清澄寺を追放され、鎌倉に赴かれました。

鎌倉には幕府があり、日本の政治の中心でしたが、天変地異が並び起こっていました。昨今の日本も異常気象がたびたび起こりますが、当時の鎌倉はもっとひどかったのです。ちょうど日蓮聖人が松葉ヶ谷に草庵を結ばれた頃です。建長5年2月に大地震、建長6年7月には暴風雨で国土が損亡し、11月にはまた大地震がありました。建長8年には大雨、洪水により多くの死者が出ました。これらは『吾妻

鏡』という鎌倉幕府のことを伝える歴史書に記されています。

鎌倉時代は年号がよく変わりました。地震・洪水・飢饉・疫病など、悪いことばかり起こるので、その度毎に改元していたのです。これを「災異改元」といいます。年号が変わった正嘉元年には5月、8月、11月に大地震が立て続けに起こりました。特に8月13日に起こった大地震は「正嘉の大地震」といい、その規模はマグニチュード7・5と推定されています。『吾妻鏡』には「戌の刻、大地震。音有り。神社仏閣一宇として全きことなし。山岳頽崩、人屋顛倒し、築地皆ことごとく破損し、所々地裂け、水湧き出づ」とあります。大地震の後も災害は止むことなく、翌正嘉2年には暴風雨で諸国の田園がことごとく損亡しました。

その年の秋には、また大洪水で家屋が流され、多くの人が溺死しました。さらに正嘉3年には大飢饉が起き、続いて大疫病が流行り、大勢の人が亡くなりました。このような様子を目の当たりにされ、日蓮聖人は〝何かがおかしい。一体どういうことだ〟と思われ、駿河国岩本の天台宗実相寺にある一切経を紐解かれ、その原因を調べられました。そして、その結論が『立正安国論』に書かれたのです。これを聖人は幕府の宿屋入道最信を通じて北条時頼に奏進されたのです。この時、日蓮聖人は宿屋入道に「禅宗と念仏宗とを失い給べし。このことを御用なきならば、この一門より事をこりて他国に攻められさせ給べし」と時頼に進言するように強く言われました。そしてこれは、北条時輔の乱、蒙古来襲として現実となりました。

『立正安国論』は「四六駢儷体」（四字と六字から成る対

句を多用する文体）に擬した漢文体で書かれた非常に流麗な文章です。主人と旅客との全十段の対話で構成されています。

最初、主人のところに旅客が来て、「牛馬巷に斃れ、骸骨路に充てり」と近年の惨状を嘆きます。すると主人は相次ぐ天変地異、災難は法然浄土教の興隆に起因することを経文から論証していきます。そして念仏信仰を禁断することによって災難を防止できることをさらに経文から論証します。またこれは諸経に説かれる三災七難の内、まだ現実化していない「他国侵逼難（外国からの侵略）」と「自界叛逆難（国内の戦乱）」を未然に防ぐためであると言います。これが日蓮聖人の主張です。

そして最後に、主人が「汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実乗の一善に帰せよ。然れば則ち三界は皆仏国なり。

仏国其れ衰えんや。十方は悉く宝土なり。宝土何ぞ壊れんや。国に衰微無く、土に破壊無くんば、身は是れ安全にして、心は是れ禅定ならん。此の詞、此の言、信ずべく崇むべし」（貴殿は一刻も早く邪まな信仰を捨てて、ただちに唯一の真実の教えである法華経に帰依しなさい。そうするならば、この世界はそのまま仏の国となります。仏の国は決して衰えることはありません。十方の世界はそのまま浄土となります。浄土は決して破壊されることはありません。国が衰えることなく、世界が破壊されなければ、わが身は安全であり、心は平和でありましょう。この言葉は真実であります。信じなければなりません、崇めなければなりません）と述べます。

つまり、日蓮聖人は〝速やかに法華経を信じて実行しなさい。そうすれば何も心配することはない〟と言われるの

です。

法然上人の念仏を禁断されたということですが、法然上人の教えは〝法華経は難行道であるから一般の人々は法華経によっては成仏できない。だから易行道である専修念仏（ひたすら念仏を唱える）が末法の衆生の成仏する道だ〟というものです。その法然上人に対して日蓮聖人は「謗法罪である」と言われました。なぜなら法然上人は「法華経を難行だから捨てよ、閉じよ、閣け、抛て」と言ったからです。法華経の譬喩品に「正法を誹謗する者は無間地獄に堕ちる」とあります。そこで日蓮聖人は「念仏無間」と言われたのです。

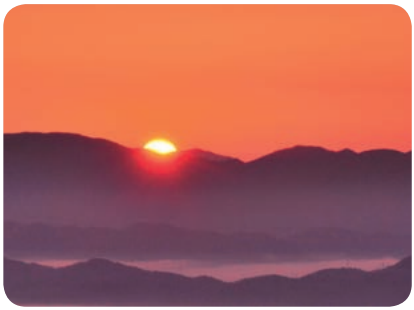
こういう言葉を聞きますと、「日蓮聖人は排他的だ」と言う人がいます。私も中学、高校時代に歴史の授業で鎌倉

仏教を習った時、日蓮聖人の「念仏無間　禅天魔　真言亡国　律国賊」について、友人から「日蓮聖人は排他的だな」と言われたことがあります。しかし、それは違うのです。「念仏を唱えて成仏」というのは「西方浄土（あの世）で成仏をしよう」ということ。それに対し、日蓮聖人は「この世でこの身のまま仏に成ろう」と言われたのです。日蓮聖人の教えである「娑婆即寂光」は「この娑婆世界をそのまま仏さまの住まわれる寂光土としよう」というものです。我々が法華経を如説修行して、功徳を積めば、この世がそのまま寂光土となり、この身このまま、仏と成れると教えられたのです。これこそはお釈迦さまの教えなのです。

お釈迦さまの時代、バラモンが非常に権威を持っていました。一般の人々は皆バラモンのところに通っていました。

なぜならバラモンが「今世の業によって来世の行き先が決まる。来世に良いところに生まれたいだろう。ならば私達のところに来て、祭祀に参加せよ。そうすれば自然に悪業が浄化され、清らかな身となり、来世に良いところに生まれることができるぞ」と言うから、来世のことが心配な人々は皆参加したのです。

当時のバラモンの行った代表的な祭祀は「ホーマ（護摩）」と呼ばれる火祭りです。バラモンは「火を燃やすことで過去世からの悪業が消滅できる」と言うのです。ときには生けにえの動物を火の中に入れます。その焼かれた動物の煙が天に昇り、〝天上の神々が喜ばれる〟とバラモンは言いました。それに対し、お釈迦さまは「生き物を殺して天上の神々が喜ばれるわけがない。殺生をやめなさい」と言われ、さらに「火に近づいて悪業がとれるなら、一日中火を



燃やしている鍛冶屋さんが一番清浄なはずだ。それなのにバラモン、クシャトリヤ、バイシャ、シュードラというカースト制度の中で鍛冶屋は最下層に位置づけられているのはどういうわけであるか」と矛盾を指摘されました。またお釈迦さまは、沐浴についての迷信も否定しておられます。当時の尼僧達の話を集めた『テーリーガーター』の中におもしろい話があります。プンニカー尼というカーストの最下層出身の尼僧の話です。

ガンジス河でカーストの最高階級であるバラモンが寒さに震えながら沐浴をしているところにプンニカー尼が通りかかり、「何をしていらっしゃるのですか」と問いかけました。「分かっているくせに。沐浴することによって過去世の悪業を洗い流しているのだよ」とバラモンが答えました。それに対してプンニカー尼は言いました。

「それでは、魚や亀や鰐や蛙は生涯、水につかりっぱなしです。ということは、魚や亀や鰐や蛙のほうが人間より解脱しているはずですね。それなのに畜生として人間よりも低く見られているのは何故でしょうか。また、水には何が善業で、何が悪業かを判断する能力があるのですか」

続けて「風邪を引かないように頑張ってくださいね」といってプンニカー尼が立ち去ろうとすると、バラモンはハッと目が覚めてお釈迦さまに帰依するようになったという話です。

余談ですが、シリア王の大使として、インドのチャンドラグプタ王の宮殿を訪れたギリシア人のメガステネースが旅行記に次のように書いています。

「インドには驚くべきことがある。そこには女性の哲学者

達がいて、男性の哲学者に伍して難解なことを堂々と論議している」

ここで言う女性の哲学者とはプンニカー尼のような尼僧のことです。

お釈迦さまは人々に「今世、一生懸命に修行して功徳を積めば、来世など何も心配する必要はない」と言われました。

杉山先生も「今日一日、これだけ徳を積んだら充分だと思えるくらいに徳を積みなさい。そうすれば明日のことはもちろん、ひいては来世のことも何も心配いりませんよ」と言われました。

今日一日を賢明に生きて、功徳充満の一日としましょう。

顕修院日達上人の御祥月命日法要が執り行われます。
法音寺本山では12月17日(火)、午後1時30分より
講日に併せて法要が厳修されます。
日達上人からご教化いただいた
お言葉を思い起こし、精進の糧としましょう。
皆さまのご参詣をお待ちしております。

❖今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	12月2日(月)	一宮支院	12月5日(木)
安芸津支院	12月8日(日)	関支院	12月13日(金)
岡山支院	12月22日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2－37－3	☎〈052〉581－2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎〈0587〉53－5436
東京支院	1日・14日・21日	東京都練馬区谷原2－6－37	☎〈03〉3904－1251
山形布教所	10日	山形市長町2－4－6	☎〈023〉681－0770
静岡支院	2日・12日・23日	磐田市城之崎4－7－3	☎〈0538〉32－6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1－26－3	☎〈0533〉86－4704
安城支院	8日・18日・28日	安城市新田町小山31－25	☎〈0566〉76－2504
明川支院	11日・21日	豊田市明川町堂ノ脇1－2	ご連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・8日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎〈0567〉32－1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1－7－4	☎〈0586〉72－7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎〈0568〉22－5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7－15－22	☎〈058〉245－2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎〈058〉388－2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎〈0584〉78－4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2－15－11	☎〈0575〉22－0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀213－2	☎〈0575〉23－3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野721－3	☎〈0575〉65－3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2－4－7	☎〈059〉352－3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎〈0595〉21－0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	1日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	8日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	1日・8日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	14日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	1日・6日・22日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・15日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	14日・22日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	8日・15日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	15日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	1日・15日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	8日・22日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	2日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	8日・22日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日・31日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・25日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	9日・22日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

身延山布教隊

唱題行脚

秋晴れとなった11月7日、身延山布教隊による唱題行脚が行われました。鈴木廣修上人がその一員として来られるとのことで、参道には多くの人々が集まりました。団扇太鼓とともにお題目を唱えながら法音寺を午前11時に出発した布教隊は約一時間後に戻って来られました。先導は久遠寺布教部主任・諏訪是隆上人。団扇太鼓を叩く布教隊の先頭には題目旗をもつ廣修上人の凛としたお姿がありました。

久遠寺布教部長・村松潮隆上人

身延山布教隊と山首上人さま

布教部長・村松潮隆上人に唱題行脚についてお話をうかがいました。

「涅槃経に《毒鼓の縁》という譬え話があります。涅槃経を説く声を聞けば、煩悩を滅するというものです。太鼓を叩いて練り歩き、お題目を響かせることによって人々の煩悩を滅し、法華経に縁を結んでもらおうというのが唱題行脚の目的です」

身延山布教隊の方々は当日の講日にも参加され、その力強い唱題に心が洗われた一日でした。

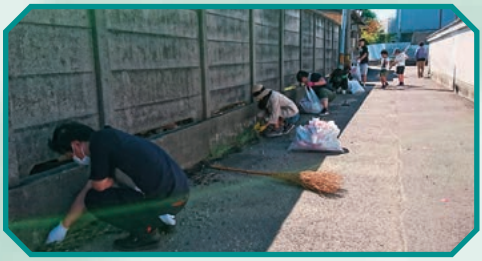
青少年育成委員会主催

『全山一斉清掃奉仕の日』

全国の各支院や布教所で、
近隣の落葉集めや清掃を行いました。

※台風の影響で一部地域では実施されませんでした。

ふたりでお掃除したよ!



お世話になっている地域へ感謝を込めて…

毎日を気持ちよく暮らす為に
私たちの住む町をキレイに！

※お送りいただいた写真を掲載させていただきました。
それぞれの支院・布教所名は省かせていただきましたがご了承ください。

仏教説話

阿闍世王授決経

貧者の一灯

お釈迦さまが王舎城の霊鷲山で多くの人を集めて説法をされていた頃のこと
摩訶陀国の阿闍世王という王はお釈迦さまに帰依し
いろいろなご供養を捧げておりました
次は灯明のご供養を捧げる！
早速百石の麻油を調えお釈迦さまにお贈りするのだ
すごい量の油だな
いったいどれくらいあるのだろう

また私の名声も広まるに違いない
これだけ大量のお布施をすれば功徳も絶大だろう

さすが王さまだなこんなにご供養ができるなんてすばらしいな
おまえも灯明のご供養をしたらどうだ

オレ達貧乏人には無理さご供養は王さまやお金持ちの人達がやればいいんだ

さあ仕事に行くぞ！
おう

その光景を一人の貧しい老婆が見ておりました
これがお釈迦さまに贈る灯明のご供養…

ゴト
ゴト
ゴト

以前お釈迦さまの説法を聞かせていただいた…
でも私は…

チャリ…

こんにちは
油をわけて
ください
ドンドン

いらっ
しゃい

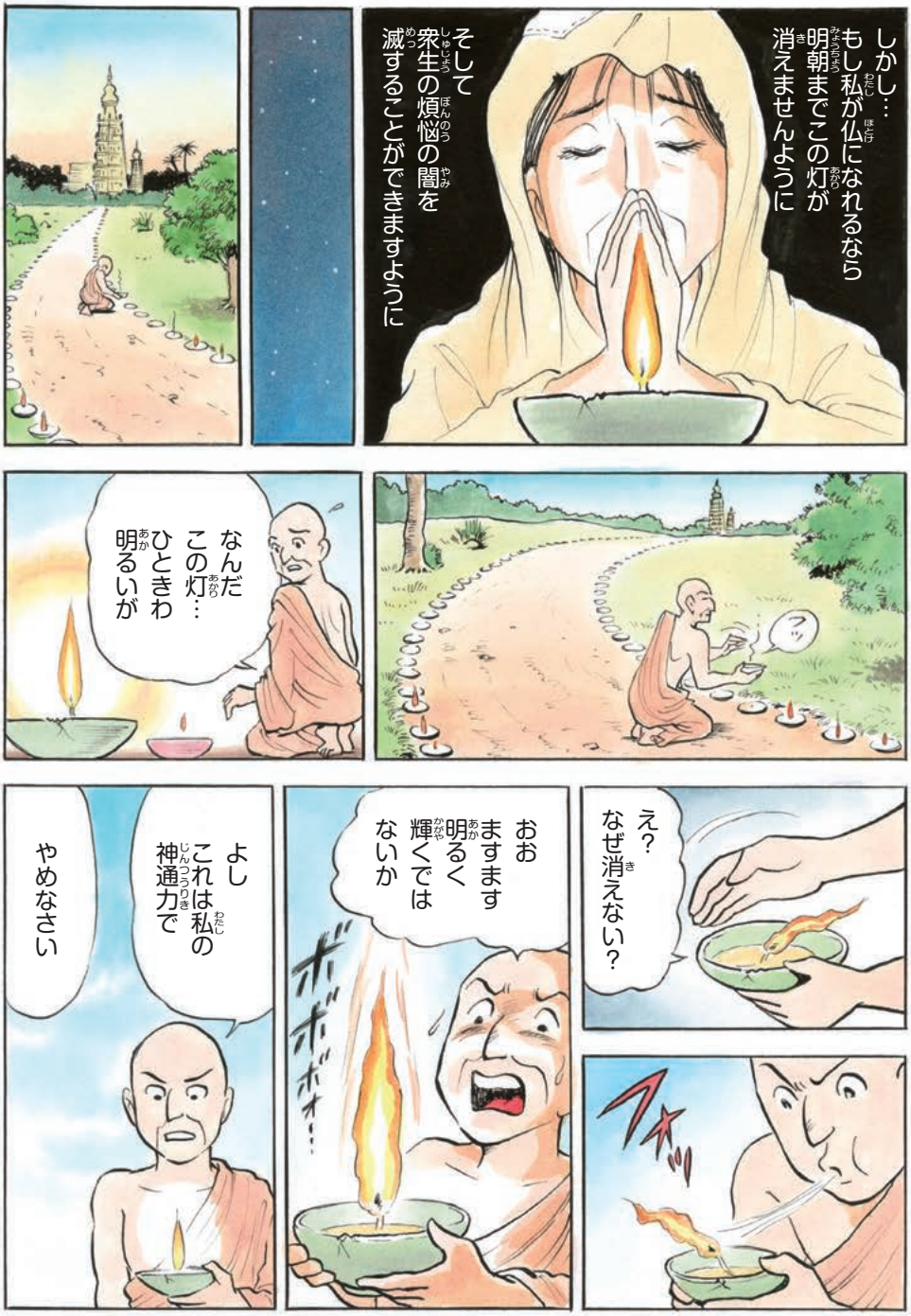
…

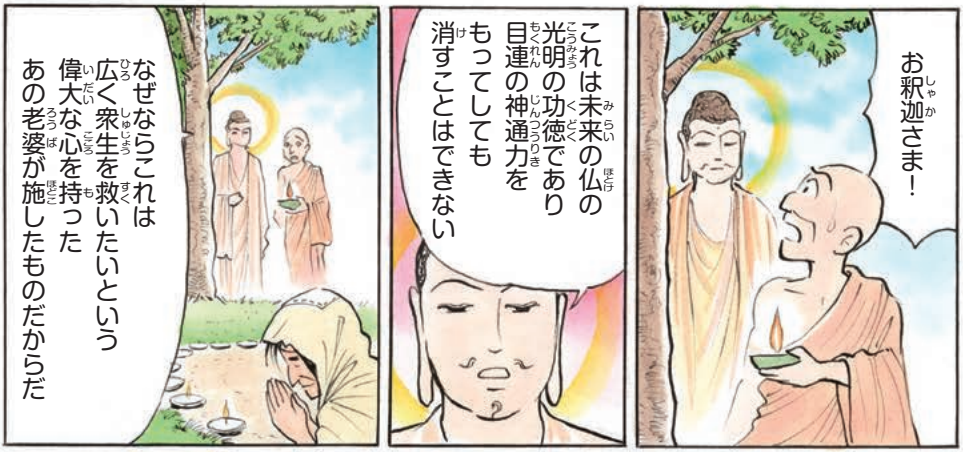
あんたはなぜ
このお金で
着物や食べ物を
買わないんだ？

私は以前
お釈迦さまの
お話を聞き
ご供養したいと
思っていました

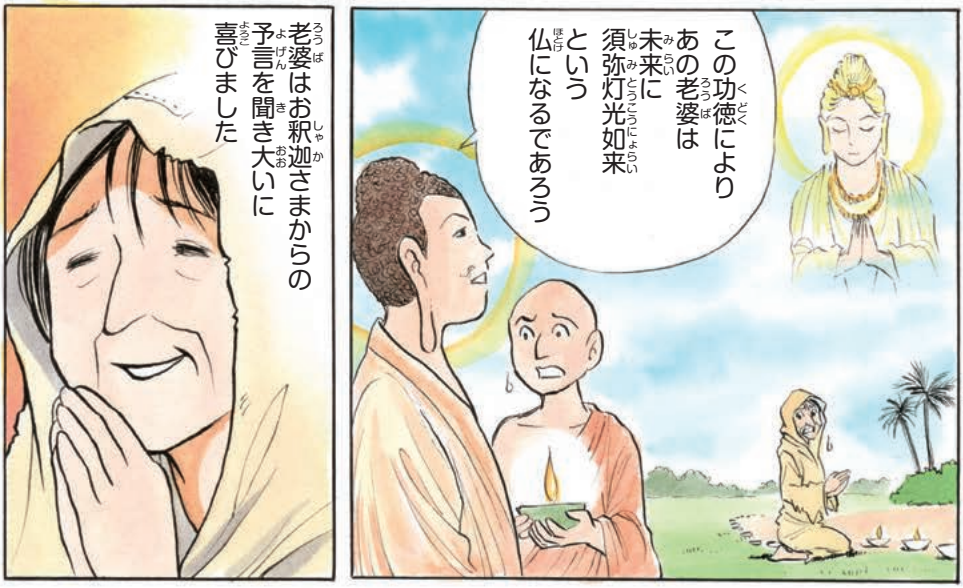
しかし今まで
私の暮らしは貧しく
ご供養を捧げられ
ませんでした

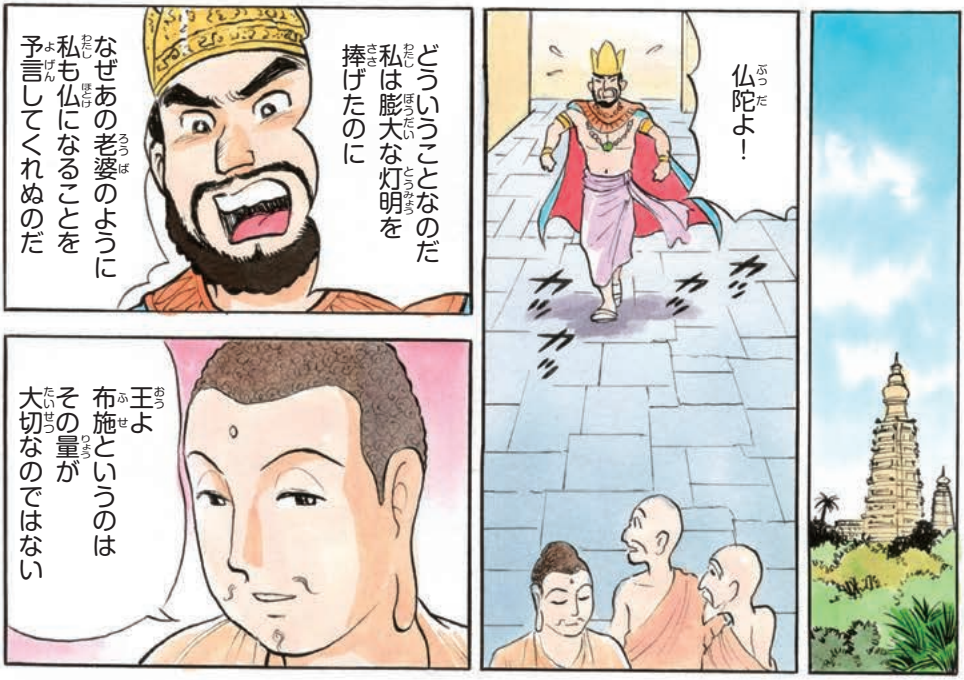
今日
王さまの灯明のご供養を機会に
私も心ばかりの一灯を捧げ
心を変えたいのです


しかし…
もし私が仏になれるなら
明朝までこの灯が
消えませんように
そして
衆生の煩悩の闇を
滅することができますように
フッ
なんだ
この灯…
ひときわ
明るいが
え？
なぜ消えない？
おお
ますます
明るく
輝くでは
ないか
ボボボオ…
よし
これは私の
神通力で
やめなさい


お釈迦さま！
これは未来の仏の光明の功徳であり目連の神通力をもってしても消すことはできない
なぜならこれは広く衆生を救いたいという偉大な心を持ったあの老婆が施したものだからだ

あの老婆は過去に布施の修行をすることがなかったので今世は貧しく生まれ財宝を持たないのだ
しかし昨夜心からの一灯を捧げ布施の修行をなした
お釈迦さま


この功徳によりあの老婆は未来に須弥灯光如来という仏になるであろう
老婆はお釈迦さまからの予言を聞き大いに喜びました


仏陀よ！
どういうことなのだ
私は膨大な灯明を
捧げたのに
なぜあの老婆のように
私も仏になることを
予言してくれぬのだ
王よ
布施というのは
その量が
大切なのではない

貧しい老婆がなけなしの
お金をはたいて買った
尊い灯明…
そこに込められた
まごころこそが
大事なのだ

おわり

中外日報に『法音』600号が紹介されました

日蓮宗

『法音』今月で600号に

「信仰と福祉の寺」として知られる法音寺（名古屋市昭和区）の寺報『法音』が10月で600号を迎えた。1964年に創刊され、当初は新聞形式だったが、75年から現在の冊子に変更して毎月発行。鈴木正修山首の法話を巻頭に、各地の支院の活動などを伝えている。600号記念号では同寺が長年行ってきた文書布教を特集している。

同寺は09年に始祖・杉山辰子氏が仏教感化救済会を開創して以来、日蓮聖人の伝記や法華経の解説をまとめた『世界の鏡』『出世の栞』等を発刊。法音寺と寺号公称した開山・鈴木修学氏は、戦後の混乱が残る時代に教化資料『生活の指針』を28冊発行。子ども向けに法華経や日蓮聖人を解説する漫画も出版した。2012年から『法音』に漫画「ひまわり」を連載し、大人から子どもまで楽しめる誌面作りを心掛けている。

近年はネット利用者の増加に伴い、冊子の内容を同寺ホームページでも公開。11年6月以降のバックナンバーを見ることもできる。さらにメールマガジンで鈴木山首の法話を配信するなど、時代に即応した文書伝道を継続している。

写真は毎号美しい花の写真が表紙を飾る現在の『法音』。

【中外日報　2019年（令和元年）10月23日掲載】

とこのはの記

地獄と極楽の話

極楽とは文字通り〝極く楽しい所〟のこと。今、自分のいる場所がそうなったらどんなに楽しいでしょう。

「極楽は天にあるものとばかり思っていました」

「極楽は経文によれば、道端の石ころでさえ宝石というすばらしい世界ということだ。宝石はなくても周りの人々と常に和やかな日々を過ごせるなら、そこが極楽だね」

「地獄も極楽も、あるものは全く同じという説があるのだよ」
「そうなのですか？極楽はキラキラしているのに対して、地獄は鬼もたくさんいて、暗くて怖い印象があります」
「その説によれば、お風呂も食堂も同じ造りをしているが、中の様子は大違いなのだそうだ」
「どういうことですか？」
「地獄のお風呂ではみんながバラバラに石鹸を使って体を洗うから、泡が飛び散り、肘がぶつかったと言っては怒鳴り合い、いつも喧嘩が絶えないというのだ」
「極楽ではそうはならないのですか？」
「極楽では、みんなが輪になって仲良く背中を流し合って

いるから喧嘩が起きることはないのだよ」
「なるほど。助け合っているから喧嘩にならないのですね」
「食堂では一メートル以上もある長くて太いお箸が使われているのだそうだ」
「え〜っ、そんな長いお箸では食べづらいでしょう」
「そうだね。みんながそのお箸を使って食べようとすれば、食べ物を口に運べないし、また隣の人にもぶつかってしまう。その結果、地獄では喧嘩になってしまう」
「それはそうなるでしょう。空腹では余計にイライラしますからね」
「しかし、極楽では喧嘩にならない」
「なぜですか？」

「極楽では、その長いお箸の特長を活かして、まず向かいの人に食べさせ、次に自分も向かいの人に食べさせてもらうのだ。誰もがそうして食べたいものを十分に食べられるので、満足しているのだ」

「同じ環境でも、そこにいる人の心掛けによって正反対の結果が生まれるのですね」

〝自分だけよければ〟という自己中心的な考えが地獄を作るもとになります。自分のできることで慈悲を施し、相手を喜ばせていこうと考えると、今いる場所に極楽を作り出すことができるのです。

のりのね体験　いま・昔

自分勝手の反省

伊藤　巌（昭和13年）

私の家から名古屋の市中へ青物を売りにいくには、約一里半あります。その遠い間を行く途中で一番困ることはバスに遭うことです。路があまり広くないので、バスが通るたびに危ない思いをしては、そのバスを避けなくてはならないのです。

先日も例のごとくリヤカーに青物を満載していきますと、たびたびバスに行きあいました。日頃から「堪忍、堪忍」と言われていることも忘れてしまい、お得意様に立ち寄るたびに、その不平を並べ歩いて帰る途中のことです。私はついにそのバスに追突され、リヤカーはそばの田んぼに転落し、私の体も田んぼの中に落ちました。私はかすり傷だに負いませんでした。相当猛烈にやられたのですから、どこかやられているはずなのに少しもないのです。そこで私は初めて〝悟らなくてはならない〟と思い、その車を引きながら、このように悟らせていただきました。

〝なるほどバスが来ればちょっと困る。だがそれは、自己第一主義の考えだ。バスだとて、自分が車を引いていけば、その自分がバスの邪魔になる。バスが自分の邪魔になって、自分がバスの邪魔にならぬはずがない。自分もバスの邪魔をしながら、それを考えず、バスだけが自分の邪魔のように思っていたのは全く自分勝手だった。自分が邪魔になっていたことは、今こうしてバスにはねられたことが間違いない事実だ。しかも、自分だって、何か急ぐ用事のある時には、バスが来るのを遅しと待って乗っていくではないか〟

こんな風に悟ってくると、すべてを自己中心に考えてお得意様に「バスは困る」と言って歩いた自分の愚かしさがしみじみと感じられ、〝こんな私だから、ああしてバスに追突されるのも無理はない〟と思いました。それ以来、私はバスに遭うごとに、静かに道を避けてバスの邪魔にならないように努めています。

法華経の功徳

豊川支院　古橋八恵子（平成31年）

娘の嫁ぎ先のお義父さんは、長年多発性骨髄腫という病気を患っておりました。お義父さんは、三人の孫をとてもかわいがっていて、病気になってからは「孫が小学校に入学するまでは、中学校に入学するまでは」と言って孫の成長をずっとそばで見守っていました。「孫達を見守

るという支えがあったからこそ、辛い抗がん剤治療も受け、病気と積極的に闘ってこられた」とお義母さんからうかがいました。二年前から抗がん剤治療のために、月に何度も名古屋の病院に通院していました。しかし、「体力的に負担が大きい抗がん剤治療はもうやめて、近くの病院に転院して、静かに家で過ごしたい」というお義父さんの希望で、豊川の病院に転院し、在宅療養することになりました。

それから間もなく、高熱が出て、肺炎で入退院を繰り返すようになりました。そのような状況の時、娘から「お義父さんが危篤」という連絡が入りました。お医者さんから「会わせたい人がいたら、呼んでください」と言われたとのことでした。私は、〝三宅上人にお徳をお願いしよう〟と思い、すぐお寺に行きました。お上人に「お義父さんは、もう回復することは望めない状態です」と申し上げますと、お上人は「少しでも苦しまないよう、無上道のお徳を送って差し上げたらどうでしょう」とおっしゃいました。私も〝少しでもお体が楽になりますように〟と、お題目を唱えました。そして、〝このまま亡くなってしまうようなことがあるかもしれない〟と思い、お義父さんの永代経をさせていただくことをお誓いしました。

その三日後の朝、娘から「お義父さんが亡くなった」と知らせがありました。娘からこの二日間の話を聞きました。

お義父さんは、最後の日、どうしても家に帰りたかったそうです。点滴の針を自分の手で抜

いてしまい、またのどに痰がからみ、看護師さんが吸引して痰をとろうとすると、もうしなくていいと言うかのように、手で払ってしまう状況だったそうです。当日の朝、血圧が急に下がってしまいましたが、お医者さんから「家に連れて行くなら、今しかありません。急いでください」と言われ、ストレッチャーに乗せ、看護師がつき添って、介護バスで自宅に帰ってきたそうです。危険な状態の患者を、このように帰宅させることは普通はないということですが、病院の配慮でお義父さんの思いを叶えてくださいました。自宅のベッドに寝かせ、看護師さんが血圧、脈などを確認し、「午後からまたうかがいますね」と声を掛けると、お父さんは「ありがとう」と言ったそうです。家に帰ってきたことがちゃんと解かっていて、昼過ぎまでは体も落ち着いた状態だったようです。

そして、午後3時頃からこん睡状態になり、家族みんなが見守る中、本当に安らかに眠るように息を引き取ったそうです。

家族と別れることは、本当に辛いことですが、最後の一日を静かに家族と過ごすことができた奇跡は、お上人からご教化をいただき、お題目と永代経をお誓いして山首上人さまより功徳をいただけたのではないかと思いました。〝この法華経のみ教えは本当にありがたい〟と思いました。

第37回 御法推進全国大会

令和元年11月3日

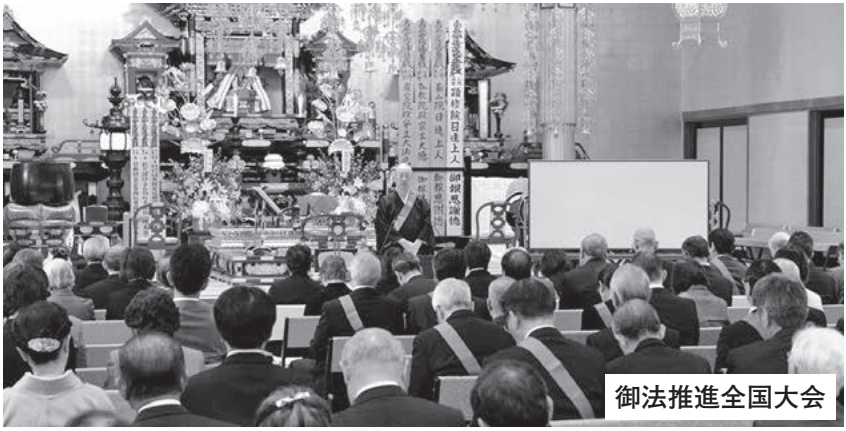
昭和に始まり、平成を経て、37回目を迎えた御法推進全国大会。令和となって初めての大会が11月3日、法音寺において開催されました。

先師御報恩法要に続いて、法縁僧侶・檀信徒代表者会・信教師会の物故者追善法要が営まれ、遺族14名がお焼香されました。

山首上人さまご挨拶

本年は杉山先生が三徳のみ教えを説き始められてから、百十一年目。脈々と精進してこられた皆さまのお陰と心から感謝申し上げます。

杉山先生は三徳の実行とともに、行住坐臥にお題目を唱えることと、法音寺の合言葉になっておりますが、「今日一日」の精進を説かれました。「今日一日、明日死んでも悔いのないように生きよう」「今日一日を功徳の日とせよ」とおっしゃっています。日蓮聖人の遺された「妙法尼御前御返事」にも、「夫れおもんみれば日蓮幼少の時より仏法を学び候いしが、念願すらく、人の寿命は無常なり。出ずる気は入る気を待つ事なし。風の前の露尚譬にあらず。賢きもはかなきも、老いたるも若きも定めなき習いなり。されば先ず臨終の事を習うて後に他事を習うべし」とあります。御開山上人は「何時死しても悔ゆることなきよう、修養をいそしみ、善根を植ゆべしと励めたるなり」とご説明されています。お釈迦さまもまた同じように、「一夜賢者の偈」の教えの中で、「冷静に現在するところのことを、よく観察して揺らぐことなく、ただ今日まさに作すべきことを実行せよ。それが人間として最も賢明な生き方である」と、今日一日の実行を、賢明な生き方として示されています。お釈迦さまも、日蓮聖人も、杉山先生も、「今日一日」ということをおっしゃったわけです。この教えを実践された方をご紹介します。白駒妃登美さんという女性です。この方は、博多の歴女（歴史通の女性）と言われ、特に福沢諭吉が好きだそうです。結婚もされ、二人の子どもさんも授かり、順風満帆の人生でしたが、子宮頸がんを発症し、肺への転移が見つかり、存命はむずかしいと医師に告げられました。そんな時、「歴史の本を出版しないか」との誘いがあり、生きた証になり、わが子への遺言になると思い、執筆を始められました。自分の蔵書を読み直す中に、脊椎カリエスを患いながら、死の数時間前まで執筆を続けた正岡子規の生きざまに大きな感動を覚えました。子規は武家の出身で、武士道の本当の覚悟


御法推進全国大会

とは何であるかに、病気を縁として気づきました。それは、「生かされている今を、平然と生きること。与えられた一瞬を感謝して生きること」でした。白駒さんは「子規の生き方を見習おう」と決心し、今に感謝して生きることに心を集中しました。その結果、毎晩熟睡できるようになり、執筆も順調に進んで本を出版。さらに肺の腫瘍もすべて消えてなくなりました。「過去や未来を手放し、生かされている今に感謝する。この死生観を持つことによって、かけがえのない今を、楽しく生きることができるのです。心一つなのです」とおっしゃっています。

人生は、心一つの置き所と申します。日々感謝し、今日一日悔いなく三徳を実行し、行住坐臥にお題目を唱えることにお励みください。

（白駒妃登美さん、正岡子規については、『法音』11月号「朝のこない夜はない」に詳述されております）

本堂の大スクリーンに、恒例となった一年の行事とともに、「法の親」への感謝と、月刊誌『法音』によって御法に縁を結ばれた女性の言葉が映し出され、杉山先生以来の伝統「文書布教」の推進が示されました。その後、以下のように教務・広報・青少年育成の専門委員会、災害支援部会の事業報告・事業計画が発表され、日本福祉大学、昭徳会からも日頃の支援に対する謝辞が述べられました。

教務委員会

◇浄心道場の開催　信教師の育成
◇御法推進全国大会の開催
◇私の誓願・わたしのおちかいの推進
◇御報恩納経

申込数	90万7840巻
欲令衆	66万6590巻
宝塔偈	24万1250巻
納経数	82万5331巻
納経堂収蔵数	81万1031巻

知恩報恩の真心を込めて書写される一文字一文字を積み重ねる「御報恩納経」も、申し込みが90万巻を超え、100万巻達成に近づいてきました。今後一層のご精進をお願いします。また、資料の中に「法の親に感謝しましょう」とありますように、感謝するとともに、御法を伝える親切をご実行ください。

広報委員会

現在、文書布教に力を入れております。杉山先生の時代の『世界の鏡』の配布がその端緒であり、御開山上人がこの本と出合われたことで、法音寺は産声を上げました。ぜひとも、一冊でも法音寺の本、『法音』を縁ある方にお渡しください。

【事業報告】

◇月刊誌『法音』
◇フェイスブック　『一日一言』配信
◇メールマガジン
◇ポスター制作
◇法音寺紹介リーフレット
◇御開山会　しおり・参詣マップ
◇行事紹介動画の作成

青少年育成委員会

【活動報告】

青少年育成道場　35名参加
御開山会奉仕　160名参加
育成キャンプ　30名参加
全山一斉清掃奉仕
動画配信

【事業目標】

法音寺内外の青年層へ、法音寺三徳・広宣流布の働きかけを行う。
子ども会・青年会活動のより一層の活性化のため、支院と連携し、人材の育成を積極的に支援する。

【事業計画】

◇育成合同会議
◇第50回　青少年育成道場
◇御開山会奉仕
◇青少年育成キャンプ
◇育成合同研修会
◇全山一斉 清掃奉仕の日
◇近隣支院交流
◇広報活動（フェイスブック・育成通信・動画配信）
◇企画委員会の定期開催

災害支援部会

本年は、4回の定期活動を福島県南相馬市（東日本大震災被災地）で行いました。臨時活動として、佐賀県武雄市・長野県長野市の水害被災地にボランティアにうかがいました。
今後も、定期活動に加えて、臨時の活動を展開してまいりますが、近年、災害が頻発し、地域も広範になっております。法音寺のボランティア活動は、「法華経による感化救済」を基本理念とする活動です。一人でも多くの方に、ご参加いただきますようお願いいたします。

日本福祉大学・丸山悟理事長

法音寺の檀信徒の皆さまには、物心両面にわたってお世話になっております。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

法音寺と大学の交流につきましては、9月21日に私どもが高槻支院を訪問、29日には信教師の皆さまが大学キャンパスをご訪問くださり、現況をつぶさにご覧いただきました。

「世界をめざす〝福祉の総合大学〟」の具現化の現れとして、留学生が増加し、学生や研究者の派遣を可能とする大学間交流も、新たにインドネシア、スリランカの大学と始まりました。国内においても、災害ボランティアを継続的に派遣し、長野県の水害被災地で2回にわたって活動しております。卒業生の国家試験合格、また就職率も順調に推移しております。この元気の源は、宗教的信念に根ざした使命をもつ学校であるということです。創立者・鈴木修学先生が世に宣明された「建学の精神」にある「この悩める時代の苦難に身をもって当たり、大慈悲心・大友愛心を身に負うて、社会の革新と進歩のために挺身する」という志に立ち返って、学園全体の取り組みを捉え直した結果であると考えています。これからも皆さまの変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

昭徳会・杉本行正事務局長

日頃、施設へのご奉仕をはじめとして、物心両面にわたるご支援、誠にありがとうございます。昭徳会は、今年創立百七年目を迎え、18拠点で52事業所を展開し、790名の職員を擁しております。さらに、今後3つの事業が加わります。

◇駒方保育園分園　0～2歳児　30名
◇障がい者の相談事業所
◇養護老人ホーム　30名（高浜市の要請により、民間運営のホームの事業継承）

昭徳会は、信仰と福祉のお寺・法音寺を母体とする社会福祉法人です。法音寺が「一人が一人を導く」実践によって今日を迎えておられるように、昭徳会も一人ひとりが、困っている人を救いたい。その方々の幸せを願い、笑顔にするための事業を行ってまいります。皆さまのご協力をお願いいたします。

支院で中心となって活躍しておられる方々が集われた御法推進全国大会。「法の親」への感謝を新たにし、御法を伝えることで、その恩に報いる自分、感謝される自分となれるよう、実践をお誓いする大会となりました。

（教務委員会　大庭圓昭）

福祉のひろば

SINCE 1912
SHOTOKUKAI

NIHON FUKUSHI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

若いお父さん・お母さんのために

はぐくみ

アレルギーと初めての離乳食
～自己判断は厳禁です！～

生後五～六カ月頃から始まる離乳食。最初はアレルギー等の心配もあり、不安になりますよね。アレルギーの仕組みを知り、安心して離乳食をスタートしてください。

お子さまが初めて口にする食材は、万が一アレルギー症状が出た時に原因が特定しやすいよう、一回の食事に一種類を少量ずつ始めるのが良いといわれています。そして、なんといっても食べさせる親御さんの余裕のある日に始めましょう。アレルギー症状の多くは、食後一～二時間以内に表れます。何らかの症状が表れた時は迷わずに病院で受診しましょう。そのためにも受診できる午前中に食べるのがお勧めです！

症状によっては、必ずしもアレルギーとは限りませんが、自己判断は厳禁です。万が一にも〝いつもと違う。機嫌が悪い。嘔吐・発疹〟等の症状が表れたら病院で受診し、蕁麻疹、赤み、かゆみと同時に、咳や息苦しさ等の複数の症状も表れる場合はアナフィラキシー（短時間のうちに全身にアレルギー反応が出て、死に至る可能性もある）の症状かもしれません。迷わず救急搬送を依頼しましょう。

食物アレルギーは成長とともに減少していくともいわれています。

人は成長に伴い、消化機能や腸管の免疫システムが発達していきます。赤ちゃんが食べ物に対するアレルギー反応を起こしやすいのは、この二つが未熟なためだといわれています。大きくなるにしたがい消化機能や免疫システムも発達し、自然と食物アレルギーが治まっていく場合もあります。かかりつけのお医者さんと相談し、継続した受診をお勧めします。

光徳保育園グループリーダー（主任保育士）　松浦　友美

～健康コラム～「風邪とインフルエンザは違うの？」

風邪は発熱や咳やくしゃみ、鼻水、喉の痛み等の症状がみられ、インフルエンザは、風邪の症状に加え、悪寒やだるさ、関節痛等の全身症状がみられます。咳やくしゃみ等の飛沫で感染し、市販の薬ではなかなか治らないので病院で受診しましょう。

乳幼児期は病気に対する抵抗力が未発達なため、風邪やさまざまな感染症にかかりやすいです。病気にならない体づくりをめざし、たくさん遊んで体力をつけ、免疫力をアップしたいですね！

純粋な心と笑顔にふれるために

ふれあい

ADHDってなに？②
～困りごととその対応～

ADHD（注意欠如多動性障害）の方達はどのような場面で困っているのでしょう。
そして、私達はどのような支援をすればよいのでしょうか。
困った場面をあげながら紹介していきます。

あるADHDの方が事務職に就職しました。こういう方が仕事をする際に、〝口頭で受けた指示ができない。うっかりの物忘れ。電話対応で何を話したらよいかわからない〟など困ったことが起きることがあります。自分にも当てはまるものがあると思う方もいるかもしれませんが、ADHDの方はその頻度が高く、どれだけ頑張っても失敗をしてしまうのです。

学校での困りごと（一例）

①長時間じっとしていることに他の人よりもエネルギーを使います。休憩時間に思いきり体を動かしたり、逃げ場を作ってあげましょう。

じっとしていることが苦手

口頭での指示や抽象的な表現は、頭の中で整理ができず、混乱してしまいやすいのですが、ＡＤＨＤの方は目で見て情報を得ることが得意な方が多いので、リストを作り、わかりやすい内容を視覚的に提示することでお互いに確認できますし、うっかりミスも少なくなります。電話対応では、対応マニュアルを作るとよいでしょう。

環境面の支援の他には医療的なケアもあり、専門医への相談や投薬など医療がかかわることで改善される症状もあります。

本人があきらめないことはもちろん大切ですが、家族や周囲の手助けは不可欠です。失敗体験が多かった人にとっては、達成しやすい目標を設定し、一つずつ達成していくことが大切であり、その積み重ねが自信につながります。

もし、周りにＡＤＨＤの方がいたら、友人を助けるように手を差し伸べてください。ほんの少しの気遣いが、相手には大きな助けとなるのです。

授産所高浜安立　グループリーダー（生活支援員）　石本　麻美

②置き忘れや物をなくすことが多いのも特性の一つです。メモを取る習慣をつけさせたり、忘れ物をした時の対応策を教えてあげましょう。

忘れ物が多い

③学校からのプリントがぐちゃぐちゃになっていることがあります。そのような場合はファイルや箱の活用方法を教えてあげます。定期的に一緒に片づけをするのもよいでしょう。

整理整頓が苦手

いつまでも穏やかな日々を送るために

よりそい

認知症になってもオムツは使用しないために…①

あなたは自分が認知症になって介護されることを想像したことがありますか？

特別養護老人ホームでは「おむつはずし」や「自力歩行」など【自立支援介護】に力を入れる施設が増えています。介護職員がこの自立支援介護に取り組み、施設入所者のおむつが外れ、車椅子を使用しない生活が送れるようになった事例も多くあります。今回は、自立支援介護について紹介します。

自立支援介護では４つの基本ケアを実践します。

①水分…一日に必要とする水分量（１５００㎖以上）を摂取する
②食事…栄養バランスが考えられた普通の食事を食べる
③排便…できる限り薬（下剤）に頼らずに排便リズムを整える
④運動…歩行を中心とした活動性のある生活

この４つを重点的に介護に取り組みます。それではなぜ、この４つのケアが認知症高齢者にとっての「自立」

に必要なのでしょうか。

◆水分について

私達の体内の水分量は成人で体重の60％（高齢者で50％）です。この体内の水分が1～2％欠乏するだけで意識障害が起きます。人は一日に排泄物や不感蒸泄（発汗以外の皮膚および呼気からの水分喪失）から約2500㎖の水分が出ていきます。逆に、体内に入る水分が食事や細胞の燃焼水から約1000㎖あり、水分が欠乏しないためにも飲み水から残りの1500㎖以上補給する必要があります。細胞の生命活動にも水は重要で、一日に必要な水分量を摂取することで、脳も活性化し覚醒水準を高めることができるのです。

◆栄養について

食事についてはしっかり噛んで食べることが重要です。高齢になると刻んだものや柔らかい食事を摂りがちですが、私達が普段食べる普通の食事が一番栄養を摂ることができ、それを噛んで食べ続けられるように、口腔機能（義歯の適合など）を整える必要があります。おいしい食事をいつまでも食べられるように維持することが大切です。

生命活動を維持するためにも必要な「水」と、栄養を摂るために普通の「食事」を噛んで食べ続けられることが、認知症高齢者の自立に向けての一歩となります。

※【排便】・【運動】については次号で説明します。

参考文献　国際医療福祉大学大学院　竹内孝仁教授　「介護の生理学」

特別養護老人ホーム・高浜安立荘　グループリーダー（介護員）　三久　将弘

令和2年度職員採用内定式を開催

写真提供・昭徳会

社会福祉法人　昭　徳　会

～すがすがしい笑顔がすばらしい～

令和元年11月1日、雲一つない秋晴れの下、法音寺にて「令和二年度 内定式」が開催されました。福祉業界の人手不足が注目されていますが、今回の参加者数は31名（内定者数34名）。今年度の二倍の人数となりました。

入場時、内定者の皆さんの表情は緊張しながらも、とてもイキイキとしており、選考試験に合格し、内定式に参加できることの喜びを感じている様子が伝わってきました。

内定式では、鈴木正修理事長（法音寺・山首上人）は内定者に向けて、「私達の仕事は人を幸せにする仕事です。皆さん、これから一緒に多くの人を幸せにしていきましょう」と述べられ、一人ひとりに内定証書が手渡されました。

その後、内定者代表として寺脇美里さん（名古屋若松寮配属予定）から「まもなく学生から社会人へと新たな道へ進んでいきます。この先は、福祉という社会貢献度の高い仕事につきますが、精一杯貢献し、自らを立派な社会人として成長させ

ていきたいと思います」と、誓いの言葉が述べられました。

内定式終了後は、懇親会が開催されました。昭徳会の各分野を代表して入社一年目から三年目までの五人の職員に協力してもらい、昼食を食べながらの交流が行われました。

懇親会開始直後は、まだ内定式の緊張が続き、張り詰めた空気が流れていましたが、先輩職員が場を和ませようと、積極的に声をかけくれたお陰で少しずつ緊張が解けたのでしょう、「昭徳会という歴史ある法人の内定式に出席することを考えると、昨日は緊張して眠れませんでした」「入社するまでに自分の知識、技術を高めなければいけないと改めて感じました」などと、先輩職員と話をする姿が見られました。

食後は、内定者同士の交流をより深めてもらうため、先輩職員が中心となって『名前ビンゴゲーム』が開催されました。

最初に、参加者全員が会場内を自由に歩き回り、出会う人と自己紹介をし合って、相手の名前をビンゴカードに記入していきます。その後、参加者の名前が書かれたクジを順番に引き、読み上げられた名前が、三人揃うと「ビンゴ！」となり、賞品がもらえます。そして、名前が呼び上げられた内定者には、全員の前で自己紹介を行い、趣味や気になっていることなどについても話をしてもらいました。同年代であることや共通の話題などから一気にお互いの距離が縮まり、同期同士のつながりが強くなっていきました。

令和という新しい時代に、昭徳会に入社する今回の内定者の皆さんは、笑顔が素敵な、すばらしい人材ばかりです。来年4月に昭徳会の仲間になる日がとても待ち遠しいです。

法人本部事務局　人事課長　纐纈　純司

台風19号の被災地・長野市での災害ボランティア活動

日本福祉大学災害ボランティアセンター

写真提供・日本福祉大学

10月に発生した台風19号は、全国各地に想像を超える甚大な被害をもたらしました。本学では災害直後より、災害ボランティアセンターを中心に募金活動を行いながら、本学と大変縁の深い長野市で支援活動を行うこととし、本学長野県地域同窓会の支援のもと準備に入りました。

本学で学ぶ長野県出身の学生は335名と、愛知県、岐阜県に続き第3位です。県人会も活発に行われており、昨年1月には長野県とUターン就職支援協定も締結しました。

支援活動の第一陣として、10月19日（土）～20日（日）に、大学からボランティアバスを出し、計27名で現地へ向かいました。千曲川の堤防が決壊して浸水した長野市下駒沢にある長野県障がい者福祉センター「サンアップル」とその周辺地域を対象に、室内では泥で汚れた器具等の清掃活動を、屋外では集積場に集められたごみの分別を行いました。

学生達は報道以上に深刻な被害状況を体感。被災後一週間でまだまだボランティアセンターなどの体制が整わない状況

や、なだれ込んだ泥や使えなくなった膨大な物の処分を今後どうしていくのかなど、被災直後の課題を目の当たりにしつつ活動に励みました。

続いて翌週、第二陣として、ボランティアバスで31名が現地入りしました。第一陣と同じ下駒沢地区と、豊野地区で活動を行いました。

第二陣の初日は、現地災害ボランティアセンターの下駒沢サテライトが週末で閉鎖するため、それを周知する「お知らせ」のチラシを各家庭に配布して歩き、要請のあったお宅へは出向いて泥かきや畳あげの作業を行いました。二日目は、美濃和田地区の公営住宅で、一カ所にまとめられた災害ゴミを分別する作業を行いました。

私は第二陣に参加しましたが、被災後二週間が経過し、順調に片づけられている所と、まだまだ手つかずの所と、復旧の状態に差が見られました。また被災者の方々も疲れが蓄積してストレスが高まっている時期で、必要とされている支援も被災直後とは違う段階にあることを実感しました。

そんな中で学生達は、「学生さんだから気軽に話せる」と声をかけてもらい、被災者のニーズを集約して回りました。その声を現地の災害ボランティアセンターの担当者に届けることで、問題解決につながる経験をし、大変やりがいを感じたようです。

一方で、「支援の要望をどこに出したらいいのかわからない」「支援を受けることを我慢している」方々が多く存在し、そのことに心を痛め、その方々に届く支援のあり方についても、今後の課題として受け止めたようです。

これから冬に向かい12月半ばから雪が降り出す長野では、そこまでにどれだけ復旧作業、支援活動が進められるかが、大きな山場になると聞いています。今後も、被災地の方々に寄り添った「私達にできること」を考えていきたいと思います。

日本福祉大学大阪サテライト　富田　貴寛

幸せの種まき＝感謝と親切

仏さまは時に、困ったこと、苦しいことで私達を鍛えてくださいます

私達はそれを受け止め、信仰を通して乗り越えていくと、より心の広い、大きな人間になることができます

大乗山　法音寺

編集後記

先日、本山で御法推進全国大会が開かれました。（詳しくは42頁参照）各委員会から事業報告がなされ、日本福祉大学・丸山理事長、昭徳会・杉本事務局長からもご挨拶をいただきました。あらためて信仰と福祉の寺・法音寺の中心は「人助け」であると感じました。

「杉山先生以来法音寺は、いろいろな形で多くの人を力づけてきました。個人の消滅・供養という形で集まったお徳を、困っている人を助けることに役立ててきました。社会福祉法人は人々の求めに応じて多くの施設を経営し、そうした施設で働く人を養成するために学校法人を設置・運営してまいりました。それらの事業をすることによって功徳を累ね、皆さんの幸せを願ってきたのです。その功徳のすべては、供養された皆さんに還元されてゆくのであります」

日達上人述（大白牛車・『一日一言』より）

〝人々が信仰を通して困っている人達を助ける〟という点は法音寺の誇るべき信仰の形態です。法音寺に連なる私達、及び日本福祉大学や昭徳会の関係者は、この使命を忘れないようにしたいものです。

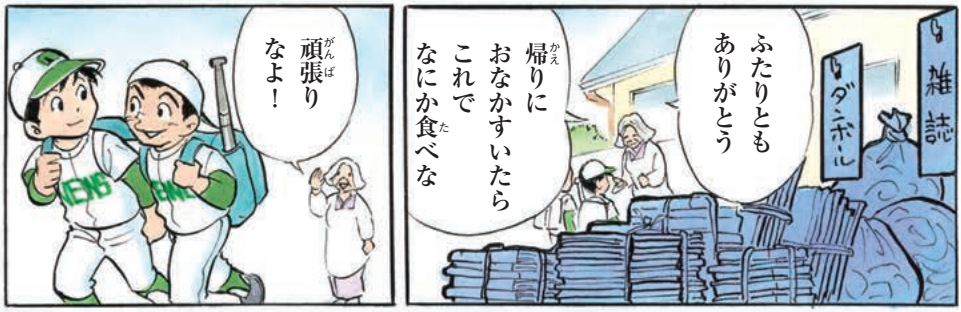
ひまわり#83

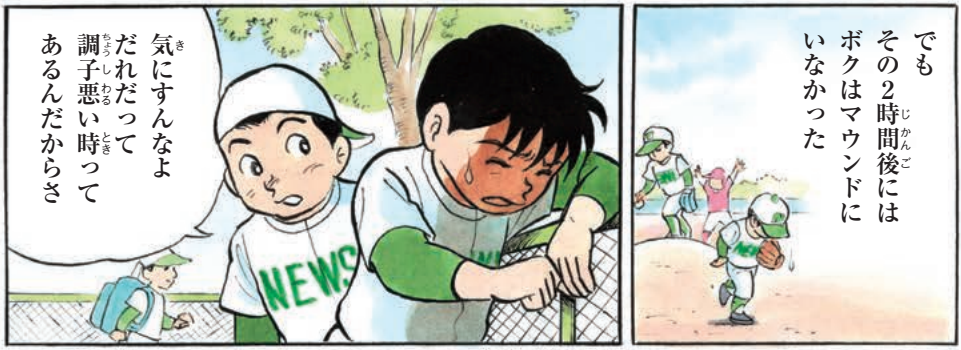
親切にする時

竹中 淳

ヘェ　タケル
募金なんか
するんだ
よくするよ
なんか
買った時の
おつりをね
今いくら
したの？
3円！
3円!?
たったの3円だよ
笑っちゃったよ
いいじゃないの
タケルくんの
まごころ
なんだから
募金は
お金をたくさんもってる
余裕のある大人が
すればいいんじゃない？
ボクが
募金したら
お小遣い
なくなっちゃうよ
じゃ
蓮は
困っている人がいたら
自分の余裕のある時だけ
親切にするのかい？
自分が悲しいことや
つらいことがあった時は
知らんぷりかい？
それと
いっしょじゃ
ないかねぇ
ばあちゃん
そんなぁ
知らんぷりだ
なんて…
いつだって
どんな時だって
困っている人には
親切にできたら
いいよね
なかなか
むずかしいこと
だけどさ

明日は試合なんでしょ早くねなさいよ
チチチ…
あ タケルくんおはよう
蓮！タケルくんだよ～
おばあちゃん何してんの？
今日は資源ゴミの日なの 早いとこ出さないとトラックが…
これみんな？
タケルおまたせ！
すまないねぇ
おい何してんだ
まだ時間あるから大丈夫だよ蓮も手伝えよ
え～
ほら
試合の前に疲れちゃうよぉ


雑誌
ダンボール
ふたりとも ありがとう
帰りに おなかすいたら これで なにか食べな
頑張り なよ！


でも その2時間後には ボクはマウンドに いなかった
気にすんなよ だれだって 調子悪い時って あるんだからさ

なぐさめてくれなくて いいよ フォアボール連発で 一回も もたなかったんだぞ！
これが 落ちこまずに いられるか あ～情けない！
あ そうだ こんな時は なんか たべようぜ な！

24
坊や おつり！ おつり！
ありがとう

オレ用があるから帰るゾ
オゥ
グスングスッ
ん？
ウウ…怖いよグスッ
なにしてんだそんな所で…
すべり台やろうと思ったのに～怖くておりられない～
こっちからすべって　おりたらいいじゃん
ダメ～それが怖いの
のぼれたんだからおりられるだろ？
ムリ～助けて！
ここまで来てぇおにいちゃん
も～めんどうくさいなぁ

ウェエ〜ン
わかった行くよ！泣かないで！
はい　ここからすべるだけ！できるよね
ボクもいっしょにすべるから
怖〜い
いい？いくよ
キャー
ねっ怖くないだろ
もう一回！ねえいいでしょ
え〜
も〜すべり台なんかしてる気分じゃないのに…
うわ〜い
もう　いいだろねっ家へ帰りなよ家の人心配してるよ
一人で帰れるよね
うん

さよなら
気をつけて帰るんだよ
タタタ…
走ったらころぶよ…
NEWS
ステ!
ウウ…いたぁ〜い
だから走るなって…
NEWS
たいしたことない大丈夫だ
アウ…
どんな時だって困っている人には親切にできたらいいよね
ホラ家まで送っていってあげる
やったぁ
ここへは一人で来たの？
うんすべり台しに
NEWS
ここまっすぐ！
おにいちゃんありがとう
え？

おにいちゃんが いっしょに すべってくれたから もう一人で すべり台できるよ だって もう怖くなく なったもん
これからは みーんなと いっしょに すべり台ができるわ ウフフ うれしい！
よかった ね！
おにいちゃん ありがとう
ばあちゃん めんどうだなって 思ってた ボクだったけど この子… こんなに喜んでくれてる うれしいもんだね
遅かった ねぇ
ばあちゃん！
タケルくんから公園で 別れたって聞いたから
タケルと肉まん 食べたよ これ おつり
いいよー 朝 手伝ってくれた じゃないか そのおだちん！
歳末助け合い

おしまい

書籍のご紹介

法音寺を知りたい方へ

戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語 上・中・下』

法音寺広報委員会　企画
中央法規出版 刊
B5版　平均九六頁総カラー
定価 各巻一、〇〇〇円（税別）

法音寺の教えを学びたい方へ

現代生活の指針

鈴木 修学 著
四六判／三四五頁
定価 一、〇〇〇円（税込）

続 現代生活の指針

鈴木 修学 著
四六判／三五二頁
定価 一、〇〇〇円（税込）

仏教を学びたい方へ

鈴木修学先生の南無妙法蓮華経

淺井 圓道 著
山喜房佛書林 刊
四六判／二百二頁
定価 一、八一四円（税込）

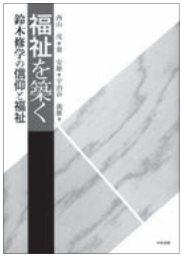
妙法蓮華経略義

鈴木 修学 著
青山書院 刊
A5版／八六三頁
定価 六、〇〇〇円（税込）

福祉を学びたい方へ

日本の福祉を築いたお坊さん

星野 貞一郎 著
中央法規出版 刊
A6版／一六八頁
定価 八六四円（税込）



福祉を築く

西山 茂／秦 安雄／宇治谷 義雄 著
中央法規出版 刊
A5版／二二三頁
定価 三、六一八円（税込）

知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらのQRコードからご覧いただけます。

毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、人にやさしく生きていくためのコツなどを配信します。

こちらのQRコードからメールマガジン登録フォームをご覧いただけます。

YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

こちらのQRコードから法音寺紹介動画をご覧いただけます。

詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで 法音寺 検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい者支援施設
- 障がい福祉サービス事業
- 軽費老人ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム
- 障がい児入所施設
- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- 保 育 所

法人本部
〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL(052)831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部
〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL(0569)87-2211
https://www.n-fukushi.ac.jp

法音・令和元年12月号・No.602・令和元年12月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社